

「北海道ベンチャー企業ビジネスネットワーク拡大プロジェクトFY2017」を開催
～見つけよう！最高のビジネスパートナー～

独立行政法人中小企業基盤整備機構北海道本部（略称：中小機構北海道 所在地：北海道札幌市 本部長：戸田直隆）では、一昨年、昨年に引き続きベンチャーイベントを開催します。

今回は、ビジネスに重要な「ビジネスパートナー」（以下、「パートナー」という。）の見つけ方をテーマに、道内ベンチャー企業がパートナーを見つける秘訣を学ぶ機会を通じて事業の推進や事業戦略を考えるなど、道内ベンチャー企業の更なる発展・飛躍とスタートアップ企業が次々と生まれる気運の醸成を目指します。

記

1. 日時：平成30年2月21日（水曜）14：00～17：00
2. 場所：ACU-Y（札幌市中央区北4条西4丁目 読売北海道ビル3F）
3. プログラム ※詳細は別添リーフレットをご参照ください。
 - (1) 開会挨拶 中小機構北海道 本部長 戸田 直隆
 - (2) 講演
 - ・テーマ「ビジネスパートナーの見つけ方～パートナーを惹きつける極意とは～」
 - ・ご講演者 株式会社ジーンテクノサイエンス 取締役会長 河南 雅成 氏
 - (3) パネルディスカッション
 - ・テーマ「道内ベンチャー企業経営者に聞く！
ビジネスパートナーの見つけ方と経営スタイル～経営者3名の視点から～」
 - ・パネリスト（企業名五十音順）

株式会社エヌビー健康研究所	代表取締役	高山 喜好 氏
株式会社ジーンテクノサイエンス	取締役会長	河南 雅成 氏
株式会社植物育種研究所	代表取締役	岡本 大作 氏
 - (4) 名刺交換会
4. 来場者：ベンチャー企業、中小企業、起業を考えている学生・社会人
大学等で研究・開発した技術の事業化に関心のある大学の先生等
ベンチャー企業支援機関・支援者
5. 定員：60名程度
6. 参加費：無料
7. 主催等
 - ・主催：中小機構北海道
 - ・後援：(国法)北海道大学産学・地域協働推進機構、北大リサーチ&ビジネスパーク推進協議会

<中小機構について>

中小機構は、日本の中小企業政策の総合的な実施機関として中核的な役割を担う経済産業省所管の独立行政法人です。全国9ヶ所に展開する地域本部を通じ、中小企業の発展と地域振興の実現に向け、創業や新事業展開、販路開拓、海外展開、セーフティネットを含む経営基盤の強化をはじめとする中小企業の様々なニーズに対し、経営アドバイス、共済制度、研修、ファンドを通じた資金提供など多様な支援メニューを揃えています。

【本件に関するお問い合わせ先】

独立行政法人中小企業基盤整備機構 北海道本部 経営支援課（担当：岩崎）
〒060-0002 札幌市中央区北2条西1丁目1番地7 ORE札幌ビル6階
TEL 011(210)7471 FAX 011(210)7481

参加費
無料

北海道ベンチャー企業 ビジネスネットワーク 拡大プロジェクトFY2017

～見つけよう!最高のビジネスパートナー～

道内ベンチャー企業が、ビジネスパートナーを見つける秘訣を知り事業をさらに推進していく——

これから起業を目指す方が、先輩ベンチャー経営者の話をヒントにこれからの事業戦略を考えていく——

道内ベンチャー企業の更なる発展・飛躍とスタートアップ企業が次々と生まれる気運の醸成を目的に本イベントを開催します。

※「ビジネスパートナー」とは、資金調達、業務提携、販路拡大、共同研究等、企業のビジネスに協力し事業推進に繋がる機関や個人のことを言う。

■日時

平成30年 **2月21日(水)**
14:00～17:00

■場所

ACU-Y 中研修室Y0305
札幌市中央区北4条西4丁目
読売北海道ビル3F

■プログラム

14:00～14:05

開会挨拶

14:05～14:50

講演

テーマ
**ビジネスパートナーの
見つけ方**

～パートナーを
惹きつける極意とは～

(株)ゾーンテクノサイエンス
取締役会長

河南 雅成 氏

15:00～16:30

パネルディスカッション

(1)テーマ
道内ベンチャー企業経営者に聞く!
ビジネスパートナーの見つけ方と経営スタイル
～経営者3名の視点から～

(2)パネリスト(企業名五十音順)

・(株)エヌビー健康研究所 代表取締役 **高山 喜好 氏**
・(株)ゾーンテクノサイエンス 取締役会長 **河南 雅成 氏**
・(株)植物育種研究所 代表取締役 **岡本 大作 氏**

コーディネーター:中小機構北海道 **岩崎 清明香**

(経営支援課 創業支援担当)

16:30～17:00

名刺交換会

■主催 独立行政法人中小企業基盤整備機構北海道本部

■後援 北海道大学 産学・地域協働推進機構、北大リサーチ&ビジネスパーク推進協議会

ご登壇者のご紹介

■ ご講演者、パネリスト

株式会社ジーンテクノサイエンス 取締役会長 河南 雅成 氏



北大発ベンチャー
認定企業

1983年、岡山大学工学部合成化学科を卒業。同年、三谷産業(株)に入社し、ケミカル医薬品の中間体や原薬を製薬会社に供給する業務等に従事。

2000年、相模化成工業(株)に常務取締役として出向。再建計画の作成・実行、新規開発品の促進を図り、同社を再建させた。2002年、三谷産業(株)のケミカル事業部ファインケミカル営業部長に就任。

2002年、(株)免疫生物研究所に入社。経営管理室長に就任し株式上場に向けた業務に携わり、2004年5月同社取締役に就任（2010年まで兼務）。

2004年5月、(株)ジーンテクノサイエンス代表取締役社長に就任。早期にバイオシミラー事業へ参入し、バイオシミラーとバイオ新薬による事業モデル、ファブレス型の研究開発体制という創業ベンチャー企業として革新的な経営を行い、2012年東証マザーズ上場、2016年ノーリツ鋼機(株)との資本業務提携等、更なる成長を目指す「攻め」の経営を展開する。2017年4月、同社取締役会長（現職）に就任。

2017年5月、再生医療ベンチャー(株)ミネルヴァメディカを設立し、代表取締役（現職）に就任。札幌医科大学と共同研究契約を締結し、糖尿病性腎症治療の事業化に取り組み、新たに再生医療分野に挑戦する。

■ パネリスト（企業名五十音順）

株式会社エヌビー健康研究所 代表取締役 高山 喜好 氏



北大BS
入居企業

1994年、東京大学大学院薬学系研究科博士課程修了後（薬学博士）、同年大正製薬(株)に入社し、同社医薬研究所にて主任研究員として新薬開発に従事。また、同社在席中、2000年より2年間、ハーバード大学医学部付属病院にてリサーチフェローとして動脈硬化・慢性炎症の新薬開発のための基礎研究に従事。

2006年同社退職後、同年に(株)エヌビー健康研究所を設立し代表取締役に就任（現職）。呼吸器疾患、慢性炎症や感染症に関する新薬の研究開発を行う創業ベンチャー企業で、当社独自の技術基盤「MoGRAAR ディスカバリーエンジン」を活用し、自社内でGPCR（Gタンパク質共役受容体）抗体創薬を進め、複数の抗体をパイプラインとして研究開発を行う。2016年7月、塩野義製薬(株)との感染症治療薬における共同研究契約等の締結を契機にライフサイエンス・ヘルスケアに特化したベンチャーキャピタルからの資金獲得に成功。大手製薬企業との大型導出を目指し、更なる研究開発等に取り組む。

なお、高山氏は2012年に鳥取大学発ベンチャー企業(株)ジーピーシー研究所（現在は退任）、2014年に(株)ノビオファーマを設立している。

株式会社植物育種研究所 代表取締役 岡本 大作 氏



北大発ベンチャー
認定企業

1991年、北海道大学農学部農芸化学科を卒業。同年より1年間、デンマーク国立植物土壌科学研究所でデンマーク政府給費生として分子生物学の研究に取り組む。

帰国後の1992年、タキイ種苗(株)に入社。研究員として野菜の品種改良でブロッコリーの育種などを担当。

2000年同社を退職し、植物育種研究所（個人事業）を創業。同時に北海道大学大学院農学研究科に進学し、北海道農業研究センターと赤タマネギの共同研究を開始。在学中の2003年、個人事業から有限会社化し代表取締役に就任。2005年、北海道大学大学院農学研究科博士後期課程を修了（農学博士）、2016年に(株)植物育種研究所に組織変更し代表取締役に就任。また、農業生産法人(株)スイートオニオンを設立、代表取締役に就任。

健康に特化した機能性育種の開発を行い、主にタマネギを品種改良し、抗酸化作用の高い「さらさらレッド」「さらさらゴールド」、涙の出ない・辛いタマネギ「スマイルボール」などユニークな品種を開発。また、農水省など多くのプロジェクトを担当することに加え、複数の大手食品メーカーや大手商社との共同開発、大手企業への技術アドバイスも行う。